

令和8年度第1回府中市子ども・子育て審議会議事録（要旨）

1 開会

令和8年7月16日に府中駅北第2庁舎で開催され、18人の委員が出席した。

2 新任委員紹介

新任委員3人の紹介が行われた。

3 事務局紹介

事務局（市職員）の紹介が行われた。

4 議題

(1) 令和7年度府中市こども計画の進捗状況と評価等について

令和7年度府中市こども計画の進捗状況と評価等について報告を行い、審議会から意見を聴取した。

基本目標 1 「地域で安心して出産し、子育てができる環境の整備」		
	事務局の評価	
	15事業中14事業を計画どおり実施した。	
	妊婦等包括相談支援事業は、相談方法の変更により、相談回数の実績が見込みを下回った。	
	プレコンセプションケア推進では、新規事業として啓発活動等を実施した。	
基本目標 2 「質の高い幼児期の教育・保育の提供」		
	事務局の評価	審議会の意見
	13事業中10事業を計画どおり実施した。	質の高い保育について、評価の設定が難しい。また、多様な保護者の声を聴く必要がある。
	保育施設等指導検査事業では、検査体制が整わない等の理由により「やや遅れがある」と評価した。	—
	幼保小連携の推進については、幼保小合同研修会を年2回開催するなど、計画以上に実施したと評価した。	「かけはしシート」について、子どもの状況や困り事を把握する上で有効な取組である。

基本目標 3 「学齢期から青年期への支援」		
	事務局の評価	審議会の意見
	6つの全ての事業を計画どおり実施した。	—
	中高生世代の居場所づくり「C o - K o P l a c e（ココプレ）」では、利用者とともにイベントを企画するなど、安全で安心な居場所を提供した。	中高生が過ごせる場所の充実は重要な課題であり、本取組を契機として、様々な意見を踏まえながら更なる展開を検討していただきたい。
基本目標 4 「ひとり親家庭の支援」		
	事務局の評価	
	5つの全ての事業を計画どおり実施した。	
基本目標 5 「配慮が必要な子どもと家庭への支援」		
	事務局の評価	審議会の意見
	11事業中9事業を計画どおり実施した。	障害児施策について、小学校入学後に支援が途切れることのないよう留意いただきたい。
	育児支援家庭訪問事業は、量の見込みを下回ったため「やや遅れがある」と評価した。	適切に事業に取り組んでいることがうかがえたため、実績が量の見込みを下回ったとしても、評価を「計画どおり実施」とすることを検討してはどうか。
	外国につながる児童・生徒の居場所事業は、参加者増加に対応し定員拡大を行ったため、計画以上に実施したと評価した。	—
基本目標 6 「子育て家庭の経済的負担の軽減」		
	事務局の評価	
	11事業中10事業を計画どおり実施した。	
	認可外保育施設入所児童に関する補助事業は、補助額増額により保護者の負担軽減を図ることができたため、計画以上に実施できたと評価した。	
	審議会の意見（総論）	
	子どもへの意見聴取を積極的に行っていただきたい。	
	聴取した意見の施策への反映状況について、フィードバックがあると良い。	

(2) 保育提供体制の確保のための実施計画について

ア 事務局の説明

国の「保育政策の新たな方向性」を踏まえ、保育提供体制の確保のための実施計画を策定することについて説明を行い、審議会から意見を聴取した。

イ 審議会の意見

- ・ 保育士宿舎借り上げ支援事業が幼稚園教諭には適用されていないことについて、疑問がある。
- ・ 申込者数（保育ニーズ）について、保育園に空きがなく、幼稚園の預かり保育を利用している方を含めているのか。
（保育所の申込みをしている方については、含まれている旨を事務局から説明）

(3) 虐待等防止対策部会の委員について

ア 事務局の説明

審議会の委員から2人を、臨時委員として学識経験者1人を、選出いただきたい旨の説明を行った。

イ 審議会の検討結果

審議会委員から林昭宏委員及び藁田薫委員を、臨時委員として白梅学園大学准教授の尾崎万帆子氏を選出することとした。

5 その他

次回審議会は令和9年2月頃に開催予定であることについて、説明を行った。